

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備維持補修又は維持運営等措置	市道本郷町原市日名内線道路改良工事	三原市	7,966,080	4,000,000	

(備考)事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備維持補修又は維持運営等措置	市道本郷町原市日名内線道路改良工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		三原市		
交付金事業実施場所		三原市下北方二丁目		
交付金事業の概要	<p>当該路線は、三原市立本郷中学校の通学路に指定されている路線であるが、直線道路でスピードを出す車両が多く、場所によっては見通しが悪く危険な状況であるため、このたび道路改良工事を行い、通学路の安全性の確保を図ります。</p> <p>舗装工(全体施工面積) A=573.0㎡ 施工延長 L=70.0m 張出歩道工 4.5m(3基), カルバート工 2.0m, 舗装工 573.0m², 区画線工 511m</p>			
総事業費	7,966,080	交付金充当額	4,000,000	
		うち文部科学省分	0	
		うち経済産業省分	4,000,000	
交付金事業の成果目標	<p>当該改良箇所は、朝夕の登下校時に交通量が多いが、幅員3~4m程度と狭く、自転車・歩行者の安全に支障をきたしています。また、路面の老朽化により横断歩道などの道路標示が一部剥がれており、修繕が必要な状態があります。このため、道路改良工事を行うことにより、地域の通学路の安全性の確保を図ることを目標とします。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>上記、成果目標を達成するため、安全な歩道の確保と、老朽化した路面と道路標示を改良する工事を実施します。当該改良箇所は、本郷中学校の通学路合同点検において、対策必要箇所(11箇所)に指定され、平成28年度末までに対策を行う7箇所に含まれており、当事業により1箇所を改善し、通学路の危険箇所を改善することを指標とします。</p> <p>参考資料: 三原市通学路交通安全プログラム(平成26年4月策定)</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>当該改良工事により、本郷中学校の通学路の危険箇所に歩道を確保し、老朽化した路面標示の改良により、本郷中学校の通学路合同点検時に指定された対策必要箇所が1箇所改善され、地域の通学路の安全確保につながりました。</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
	道路改良工事	一般競争入札	有限会社吉井産業	7,966,080
		計		
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	
			該当なし	

(備考) (1) 事業ごとに作成すること。

(2) 番号の欄は、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。

(3) 交付金事業の成果目標の欄は、発電用施設周辺地域整備法第1条(目的)を踏まえて具体的に記載すること。

(4) 交付金事業の成果指標の欄は、成果目標を踏まえて定量的な指標を記載すること。

(5) 交付金事業の成果及び評価の欄は、進捗度、利用量並びに効果等を出来る限り数値を用いて記載すること。

(6) 交付金事業の契約の概要の欄は、契約件数が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

(7) 成果及び評価に係る第三者機関等を活用の有無の欄については、第三者機関等を活用した場合にあっては、その名称及び構成員等を記載